

トラック 1

○リーゼ：

うわあ。雪の女王の城にきちゃった

ねえ勇者。ほんとに雪の女王に挑むつもり？

もう！勇者っていつもそうなんだから

ここが女王の間？

★フリーダ：

よく来ましたね、勇者とその下僕

○リーゼ：

下僕じゃないし！

★フリーダ：

何も言わずとも分かっています

村の吹雪を止めたいというなら

妾の頼みを聞いてもらいたい

いいか？

勇者、こちらに

妾をお前のチンポで満足させよ。

さすれば吹雪を止めてやろう

どうだ？

トラック 2

○リーゼ：

ちょっと勇者！

それって雪の女王とエッチするってこと！？

そんなの駄目だって！きゃっ

★フリーダ：

うるさい下僕は足元を凍らせて動けなくしておいたわ

では勇者、始めようか

人間のオスの粗末なおちんぼが出たな

まだ半分ほどしか勃起しておらぬか

妾が恐いか？

でもこうすれば

ほーら、強制勃起♪

自分の意志とは関係なくおちんぼがバッキバキになり、

しかも簡単に射精できないようになる

このおちんぼ、どこまで妾を楽しませてくれるかな？

それじゃあ騎乗位で失礼して

★フリーダ：

ん、んんっ

ふふ。入れた瞬間にイキそうになったでしょ？

人間のオスには雪の女王のおまんこは気持ちよすぎるの

だからこうして魔法で射精制御してやらないと、すぐに果ててしまうのよ

これで動いたらどうなるか、楽しみねえ

んく、あふっ♡あっ、あっ、ん、あっ、あっ、あっ♡

久しぶりの人間のオスチンポ♡

しかもこれ、勇者だけあってたくましくて奥までしっかりと、届く

んあっ♡あっ、あっ、あッ♡はうっ

妾も体が熱くなってきたわ

この大きな胸に顔を埋めて

雪の女王の魔性の香りで、イキ狂いなさい

ほら、もっと吸い込んで

★フリーダ：

はあ～、ふう～

んぐはっ♡はぐっ、お、お、おっ♡ほっ、あゝっ♡

んふふ、あはは！

この香りでイカなかったのは素晴らしい！

はうっ、あっ、んんっ、っ、んはあう♡

お前のチンポ、もっと味わわせるがいい

んあっ♡あっ、あっ、あッ♡あっ、あっ、んんっ

これは、久しぶりに、イケるかもしれん

んいひっ♡あ、あっ♡あゝ♡あっ、あっ、～～～っ

人間のオスの癖に、こんなにも的確に気持ちいいところを

んゝひっ♡おゝっ♡おゝ おっ♡ほっ♡あゝ、あゝ、あゝ

こ、これは、何だ

ひぎうっ♡あひっ♡ひっ♡ひあぁぁぁあぁあっ♡

中で何かが、弾ける

ん”ん”おほおおおおおお

こんな快樂、今までに感じたことない

駄目、これ駄目なの

う”ん”っ♡はあっ♡はあっ♡はああ”っ♡あ”う”う”

★フリーダ：

そうか、お前は女神の加護を

お"ッ♡ほおおおっ♡ひiiiiii"ッ♡

もう、駄目。い、いく

お"ほ...っ♡ん"お"お"お"お"っ♡

イ"ぐ、イ"ぐ、う"う"う".....っ♡

ん、ぐふううううっ！

あゝ あゝ こんなにたっぷりと中に出されてしまった

んはあ、はあ。まだ体がイッておる

ぐはっ

魔法が解けて動けるようになったか

○リーゼ：

勇者、大丈夫！？きゃっ！

だ、だって、その.....勇者のがすごいんだもん

ぼ、ボクだって一応女の子なんだから

ねえ勇者、ボクともエッチするの、駄目かな？

なんでって.....雪の女王とだけするの、イヤだから

てか、ボクとエッチしろー！

○リーゼ：

あ、勇者、ほんとに

そこ、見ちゃ、恥ずかしい

ぬ、濡れるの当然だろ！あんなの目の前で見せられて

うん。しょ、処女だから、優しく、ね？

ん、あ.....あゝ あゝ っ

うゝ んゝ 。 いゝ だいゝ

でも勇者のしたいように動いて

ボク、我慢するから

やだぁ！勇者とエッチしたいの！

だって.....勇者のこと、好き♡だもん

もう！ばかばかばか！

勇者なんて知らない！

んひっ♡はうっ♡くっ、ふっ♡

あ、あれ？痛く、ない

くうっ♡あくっ、っ、んんっ、ふっ、ふう

勇者のお、おちんぽに、雪の女王の魔法がまだ効いてるから？

でも気持ちいいならいっか？

思い切りシテ！ボクで気持ちよくなって！

あふっ♡あっ、あっ、んんんっ♡っ、ひはっ♡はっ♡

○リーゼ：

勇者のおちんぼ、奥までいっぱい、ボク、なんだか泣けてきちゃう

ひあっ、はっ、あっ、あっ、あっ♡

だから

はうっ、あっ、んんっ

うれしくて

あくっ、っ、んんっ、ふっ

大好きな人とつながれて、うれしいから！

いっつ♡っ、あゝ、あゝ あゝ ツ♡

勇者あ、好き♡大好きい♡

あんっ、あんっ、あんっ♡んあっ♡

普段からもっとそういう声聞かせろ？

もう！ばか！ばかばか！

はぐっ、お、お、おっ♡ほっ、あゝ ♪♡

い、いきなり激しくするなあ♡

ひぐっ♡っ、あゝ ♪♡はっ、あゝ、あゝ あゝ ♪♡

気持ちいいの！よすぎるの！

んゝ はっ♡あゝ ♪、あゝ ♪、あゝ あゝ あっ♡

ボクのこともっとぎゅってして！

○リーゼ：

好きって言って！

あゝ っ♡あゝ ツ♡

そんなにされたらボク、勇者のものになっちゃうよお♡

うッ♡——んゝ おゝ ひ♡ひっ♡おゝ っ

ボクも、我慢できないっ

あゝ ひっ♡あゝ っ♡あゝ っ、あゝ っ、あゝ あゝ あっ♡

きて、ねえ勇者きて

熱いの全部ちょうだい

はっ、あっあっ、んんっ

はう♡あ、あ”.....んう、ふう♡あっ、あう.....♡

ん”あ”、あっ、あ”っ♡あ”、あ”う、あ”、あ”っ、あっ”♡

んあああ♡！

あああ.....このあったかいの、全部ボクのだあ

しあわせ♡

トラック 3

★フリーダ：

んじゅるっ、ずるっ♡ずるっ♡ぶぽっ♡んぽ♡

ちょっと魔法使い

このおちんぽは妾のモノぞ？

○リーゼ：

いくら雪の女王様だからって、

勇者のだけは譲れないから！

ボクのだから！

むじゅっ♡じゅるっ♡ぐちゅっ、ぢゅぐぬぬずずっ

ね、勇者？ボクがいいでしょ？

★フリーダ：

妾のほうが気持ちいいに決まっておる。なあ？

★フリーダ：

○リーゼ：

どっちなの！？